

●アギトアリ(*Odontomachus monticola*)とは



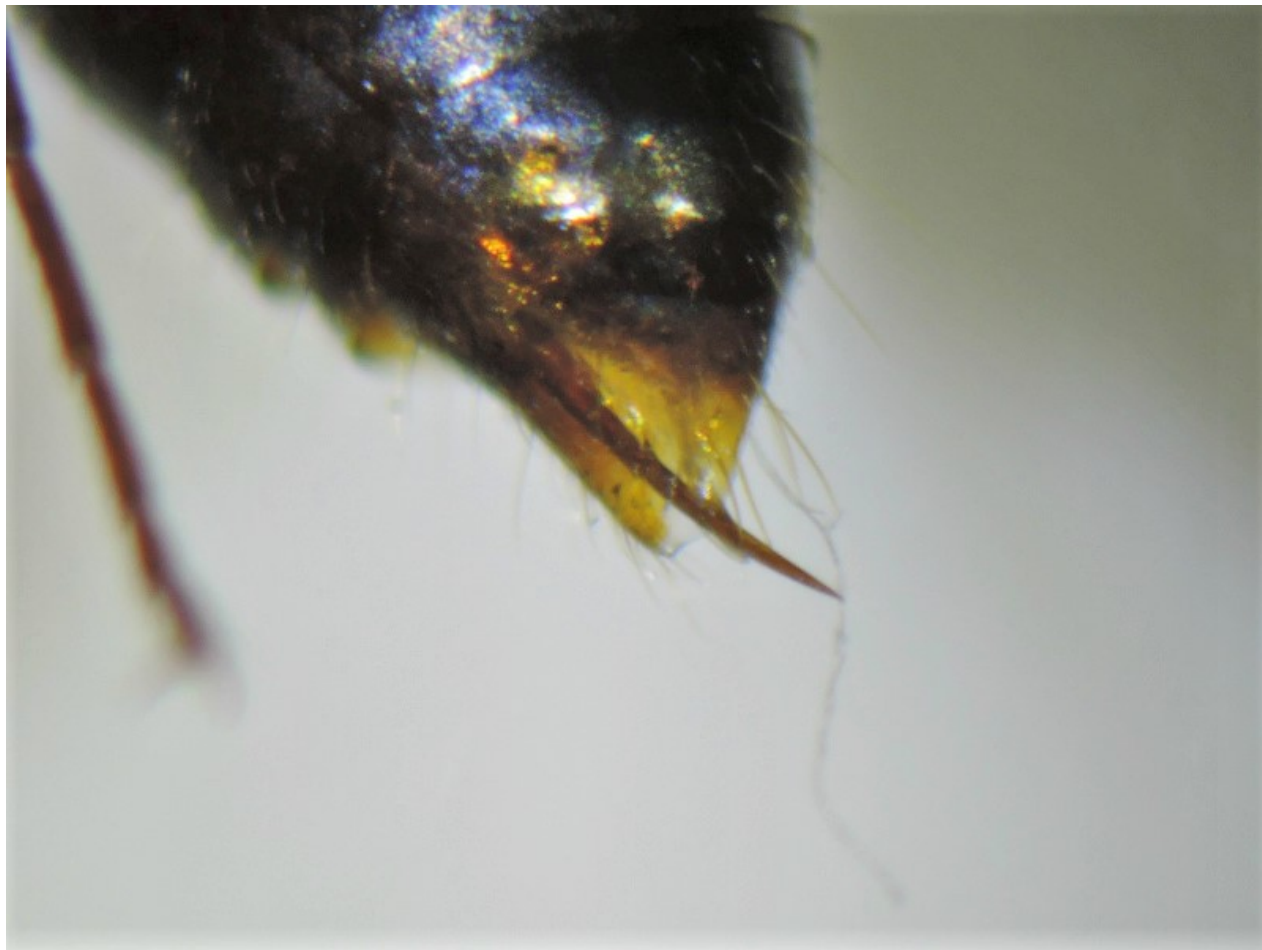
アギトアリは東南アジアを中心とする熱帯・亜熱帯地域に分布するハリアリ亜科に属するアリの仲間、森林内で生息しています。我が国では鹿児島県以南に分布するとされていますが、近年、岡山県や大阪府、三重県、神奈川県など本州の数か所で定着が確認されています。

●知多市佐布里地区で見つけたアギトアリ



先年、知多市の佐布里地区で偶然アギトアリの成虫を2個体発見しました。これらはトラックなどで偶発的に持ち込まれた可能性もあるため、本年6月に改めて同場所を調査しました。その結果、複数のアギトアリの成虫を見つける事ができまして、この場所に定着している可能性が高いです。

●アギトアリの大顎と尾部の毒針



アギトアリの成虫の体長は1cm程度と大型で、広く開く事が可能な大顎(左写真)と、ハリアリの仲間に特徴的な尾部の毒針(右写真、実態顕微鏡での観察)を備えています。肉食傾向の強い雑食性で小型の昆虫などを捕食します。

●アギトアリの大顎の感覚毛



アギトアリの大顎の内側には感覚毛が生えていまして、この感覚毛に獲物が触れると瞬時に大顎が閉じて獲物を捕らえます。アギトアリの仲間の中には、この大顎を閉じる速度が時速200km以上に達するものも存在するそうです。

●アギトアリの大顎の開閉



アギトアリの大顎の開閉の様子をハイスピードで動画撮影しましたが、この開閉はかなりの速さで行われていました。感覚毛に獲物が触れた途端に大顎が反射的に閉じるのですが、どのような仕組みで情報が伝達され、大顎の開閉という運動に繋がられているのか、実に興味深いです。